

競技・審判上の注意（A B C大会用）

- (1) 本大会は、2026 年度（公財）日本バドミントン協会競技規則及び大会運営規程並びに公認審判員規程により行います。
- (2) タイムテーブルはマッチの順序を示しています。マッチの進行は空いたコートに入れる「流し込み」方式とします。アナウンスがあり次第、プレーヤー・コーチは体育館内の選手集合場所に集合してください。なお、集合が遅れるとマッチの進行に影響がありますのでアナウンスには十分注意してください。
- (3) マッチが連続した場合は、原則として前のマッチが終了してから 15 分後に次のコールをするものとします。
- (4) 3 位決定戦は行いません。
- (5) 審判は全てのマッチ、大会本部にて行います。なお、サービスジャッジは準決勝より配置し、その他のマッチにおいては原則としてつけません。
- (6) プレーヤーのマッチ中の服装は、（公財）日本バドミントン協会審査合格品とし、ウェア背面上部に「都道府県名、氏名」が明記されているものを必ず着用してください。なお、ゼッケンは本人確認がしっかりできるように必ず 4 カ所留めにしてください。チーム名やロゴについては、大会運営規程第 24 条に準じ、袖及び胸のいずれかに 50 cm²以内のものをつけることを認めます（ただし、上衣にプリントしたものも認める。）。ユニフォーム広告に係る広告（ロゴ）スポンサー名等について（令和 6 年 4 月 15 日）」によるものとします。また、儀礼（開閉会式、表彰、試合入退場時、あいさつ時）の際は、上衣の裾は下衣の中に入れてください。
- (7) コートへの入場は、主審の先導により組み合わせ番号の若番のプレーヤーから行い、退場は主審の誘導により勝者から行います。
- (8) 全マッチ「代替スコアリングシステム 2 の 1 ゲーム 15 点で 2 ゲーム先取の 3 ゲームマッチ」を適用します。
- (9) コート入場後のマッチ前のウォームアップは、主審の指示により各マッチ 2 分間の練習を対戦相手と認めます。なお、練習シャトルは、各自で準備をお願いします。
- (10) すべてのゲーム中に、一方のプレーヤーのスコアが 8 点になった時に、60 秒を超えないインターバルを、第 1 ゲームと第 2 ゲームの間、第 2 ゲームと第 3 ゲームの間に、120 秒を超えないインターバルをとることができます。その際、主審が「(コート番号) 20 秒」とコールをしたら、すみやかにコート内に入ってください。また、コーチはアドバイスで同時に 2 人までですが、主審の「(コート番号) 20 秒」のコールがかかったら、すみやかにコートから離れてください。
プレーヤーはマッチ中、所定のインターバル以外に、シャトルがインプレーでない場合に限り、アドバイスを受けることができます。ただし、マッチ進行を妨げる（遅延行為）とみなされるものになってはいけません。
- (11) 競技フロア内での電子通信機器（携帯電話、スマートフォン、タブレット端末等）の使用は一切認めません。また、電子通信機器（携帯電話、スマートフォン、タブレット端末等）を用いたマッチ中のアドバイスやコーチングを禁止します。
- (12) 各エンドにあるコーチ席に着く際には、必ず I D カードを身に付けてください。許可されたインターバルを除き、指定された椅子に着席するものとし、マッチ中は、認められている移動の時以外に立ち上がったり、立ってはいけません。また、インプレー中に声を出したり、ジェスチャー等の行為をしないでください。うちわを叩いたりする行為も禁止します。なお、コーチが他のコートへ移動する際はインプレーでない時に行ってください。
- (13) コーチは所定の名札（I D）を着用の上、服装は公認審判員規程第 5 条第 12 項第 8 号を遵守し、体育館シューズで入場してください。
※Tシャツ（チームTシャツ及び今大会記念Tシャツは除く）、ショートパンツ（7 分丈を含む）で着席はできません。
- (14) プレーヤーはいかなることがあっても、体力の回復を図るためにプレーを中断してはいけません。汗ふきや靴ひもをしめなおす等、マッチ進行を妨げない限りでプレーを中断する時は、必ず主審の

許可を得てからすみやかに行ってください。

- (15) マッチ中の水分補給は、インターバルを除き、主審の許可が出た場合に認めます。なお、使用する容器は、水等がこぼれないようにフタやキャップが付いているものを使い、各自バッグに収納し、主審側のショートサービスライン付近に置くようにする。
- (16) 氷のうはインターバル中のみ使用できます。プレー中は保冷器（クーラーバック）に入れ、コーチ席で保管してください。なお、コーチ席に人が着くことができない場合は主審に申し出てください。
- (17) マッチ中に発生したコート内でのケガや病気に対して、通常コート内に入ることができるのは、レフェリーが必要と認めた医療役員等に限りです。
- (18) 審判員の判定に対して疑問がある場合は、次のサービスが行われる前に、当該プレーヤーに限り、主審に質問することができます。それが、「抗議」や「異議」になっては絶対にいけません。
- (19) 観客席からの助言や指導、フラッシュ撮影など、マッチの進行に支障があると思われる行為やマナーに反する行為を禁止します。

一 般 注 意 事 項

- (1) 体育館の館内でのウォーミングアップ・ランニング等は禁止です。
- (2) 体育館では観覧席でも上履き使用できます。ただし、メインアリーナ及びサブアリーナに入る際には、出入口設置のタオルで上履き裏を必ず拭き入ってください。
- (3) メインアリーナの観覧席は地区ブロックごとに場所を指定(表示)してありますので、マナーを守ってご利用ください。サブアリーナの観客席は地区ブロックごとの割り振りはありません。
なお、盗難事故が多発しておりますので、各自、貴重品等の管理をお願いします。
- (4) ゴミは各自持ち帰るようにお願いします。
- (5) 応援席は、メインアリーナの 2 階観客席の最前列 1 列、サブアリーナの 2 階全席としますので、占有しないようにしてください。

《熱中症予防に関して》

- (1) 競技中の水分補給は随時認めます（ただし主審の許可を得たときに限ります）。
審判員・競技役員にも徹底させます。
- (2) 体育館の湿度・温度を常に監視して空調（冷房）の実施または換気を行います。
- (3) 医療役員（看護師）をメインアリーナの本部席に 1 名以上常時駐在させます。

《食中毒予防に関して》

- (1) こまめな手洗い、手の消毒をしてください。消毒液は、各人にてご準備してください。
特に、食前の手洗い、手の消毒等を心掛けてください。
- (2) お弁当は早めに召し上がるように心掛けてください。
食中毒菌が繁殖しやすい温度（約 20℃～50℃）に置く時間を極力短くすることが大切です。